

令和6年度 第10回 FD 研修会報告

日時：令和7年1月21日（火） 15：00～15：40

場所：H棟207中講義室

出席者：26名

発表：石野 友子(幼児教育学科)

テーマ：金城紀要第48号 研究奨励賞受賞記念講演

「はくさんに しんかんせんがやってきた」ができるまで

金城紀要第48号に投稿した「はくさんに しんかんせんがやってきた—北陸新幹線陸送の記録絵本制作—」について、研究の経緯や紀要には書ききれなかった思いを発表した。本研究は、北陸新幹線が運搬される様子の写真にストーリーを加えた写真絵本「はくさんに しんかんせんがやってきた」を幼児に読み聞かせし、その様子から幼児の発見やつぶやきを記したものである。著者は、幼稚園勤務の経験や読み聞かせの活動を通し、幼児の興味・関心をひきだすべく北陸新幹線が運ばれていく様子をストーリー仕立てにした。

まず、写真絵本をスクリーンに映し、読み上げた。そして、幼稚園での新幹線にちなんだ遊びや、北陸新幹線W7系について紹介した。北陸新幹線は、10年前の長野～金沢間開業前と昨年の金沢～敦賀開業前の二度にわたり、金沢港から金城短大近くの白山総合車両所に運び込まれた。道路を運ぶ作業は深夜行われ、この珍しい様子を「子どもたちに伝えたい」ということが著者の絵本作りの原点であった。そして身近な地域での出来事に興味を持ち、人・物・事に関心を持ってほしい、との願いでこの写真絵本を構成した。言葉選びは写真に合わせ、疾走感や静けさを表し、語感やリズム感を大切にした。

さて、試作した写真絵本は、西南幼稚園や蝶屋こども園、白山市立図書館などで読み聞かせを行い、子どもたちの驚きの表情や、喜びのつぶやき、じっと見つめる姿を見聞きすることができた。この子どもたちの輝くまなざし、わくわくする心を育てる保育の可能性を感じている。今後も、地域に密着した絵本を活用することで、保育者養成や幼児教育に貢献していきたいと考えている。

最後に、本山研究推進紀要編集委員長より、次年度の金城紀要第50号について改めて告知があり、記念企画を含め、教員の研究投稿を勧める旨が伝えられた。

感想として、「トレインパーク白山に行ってみたくなった」「知らなかったことを知ることができ、大人が読んでも面白い」という声があった。白山市との地域連携にも期待する。

